

施策	5201 生涯学習環境の充実							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民							
施策が目指す姿	生涯学習の拠点となる施設の整備充実及び、地域住民の相互学習による利用の促進を図る。							
成果指標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)							
目 標 達 成 状 況		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	成果指標1 [ 回 ]	予定	2,000.00	4,500.00	4,600.00	4,700.00	4,800.00	
		実績	4,344.00	7,851.00				
	成果指標2 [ 人 ]	予定	702,000.00	718,000.00	735,000.00	753,000.00	787,000.00	
		実績	709,353.00	739,408.00				
		単位コスト	0.51	0.49				
	成果指標3 [ ]	予定						
		実績						
		単位コスト						
	成果指標4 [ ]	予定						
実績								
単位コスト								
トータルコスト (千円)	予定	388,041	357,787	0	0	0		
	実績	362,045	364,934			0		
内 部 評 価	貢献度	上位施策の目標指標「社教施設利用者満足度」を向上させるためには、社教施設への関心や利用者数の向上が必要であるため、本単位施策の目標値達成度による貢献度は高い。						
	達成状況	アシストネット事業ボランティア回数、社会教育施設利用者数ともに目標値を上回ることができた。						
	課題	アシストネット事業の認知度が低い。また、施設の中には老朽化に伴う機能の低下や設備の不具合がみられることから、計画的な修繕が必要である。						
	取組方針	アシストネット事業の啓発を推進する。また、計画的・効率的な維持管理を行いながら、地域の特色ある社会教育施設として施設利用環境の向上を図る。						
外 部 評 価	とちぎ未来アシストネット事業は目標値を大きく上回っており、関係者の声からも大いに評価できる。しかし、目標値を大きく上回る状況は、目標値の設定が妥当であったかについて検討する余地があり、次期計画までに妥当な目標値を検討しておくこと。また、本事業は優れた事業であるにも関わらず、市民への周知は十分とは言えないため、あらゆる手段で広く情報発信を行い、次の評価で具体的な取組みを示すこと。 社会教育施設利用者数は順調に推移しているが、利用者の利便性・安全性向上には適正な修繕が必要であるが、財政状況を鑑み計画的な修繕に努めて欲しい。 新栃木コミュニティ会館管理事業や各集会所管理事業といった、一部の主要事業の結果指標に予算執行率を掲げているが、行政評価の主旨を理解の上、妥当な指標を設定されたい。							
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	562401	社会教育関係団体補助金(栃木)				4,020	100	
	563102	大平公民館管理運営費				29,944	100	
	563106	岩舟公民館管理運営費				27,072	100	
	563401	皆川公民館管理運営費				22,663	100	
	565004	都賀公民館管理運営費				15,299	100	
	567601	図書館システム管理費				14,342	100	
	582301	とちぎ未来アシストネット事業費(栃木)				5,939	100	
	582302	とちぎ未来アシストネット事業費(大平)				1,626	100	
	582303	とちぎ未来アシストネット事業費(藤岡)				1,657	100	
582304	とちぎ未来アシストネット事業費(都賀)				869	100		



# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	562501	事業区分	01	経常的事业	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	コミュニティ施設管理費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	教育委員会 生涯学習課 生涯学習担当 生涯学習チーム						担当者	永田陽一				従			
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等					事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	14,080	千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうい方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 旧栃木市内のコミュニティ施設(第三地区、第四地区、第五地区、第六地区、栃木第一小学校集会室)の管理及び維持補修を行う。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) コミュニティ施設を運営するうえで必要な光熱水費・燃料費が適正に支出されていること。 年々老朽化する施設が維持補修でき、市民が快適に使用することができること。							
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)													

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	平成25年度		平成26年度							
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	【事業の内容】 ・第三地区、第四地区、第五地区、第六地区、栃木第一小学校集会室等の管理及び維持補修を行った。 【成果】 ・第三地区(ブラインド修理)、第四地区(畳張替え・2階トイレ洗面器排水修理等)、第五地区(調理室ガス器具修理)の修繕工事を行い、施設の利便性を図った。 平成25年度より第四地区コミュニティセンター管理費を統合		事業の内容 その成果						
	県支出金	0	0	【事業内容】施設の管理及び維持補修を行った。 【成果】第三地区(空調設備改修)、第四地区(オペレーター修繕、避難口誘導灯取替、窓ガラス修理、トイレ詰まり、漏水修理、誘導灯予備電池取替、空調設備改修)、第五地区(トイレ小便器修繕)、第六地区(畳表替、冷蔵庫購入)、南部地区コミュニティ運動広場(樹木伐採・剪定)を行い、施設環境を整えた。								
	地方債	0	0									
	その他特財	388	423									
	一般財源	1,619	5,742									
	事業費 a	2,007	6,165									
	人件費 b	3,750	3,000									
減価償却費 c		0										
総事業費 a+b+c	5,757	9,165	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価						
結果指標 1	89,429.00	86,831.00	利用人数	コミュニティ施設(五箇所)の年間延べ利用人数 平成26年度目標値 90,000人	人		妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 2	4,907.00	5,315.00	利用団体数	コミュニティ施設(五箇所)の年間延べ利用団体数 平成26年度目標値 5,000団体	団体		妥当	無	適正	有効	無	有

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 利用者の利便性及び安全確保に配慮した施設の維持管理を行う。										
--------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考											
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	562701	事業区分	01	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	皆川城内集会所管理費										主	5201	生涯学習の充実		生涯学習環境の充実		
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 人権・男女 人権推進担当 大平隣保館チーム						担当者	渡辺由夫					従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市集会所条例								事業期間	S 5 2 ~ H 3 1 年度		全体事業費 (人件費除)	6,750 千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 皆川城内集会所の管理及び維持補修を行う。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 皆川城内集会所を運営するうえで必要な光熱水費・燃料費が適正に支出されていること。年々老朽化する施設が維持補修でき、市民が快適に使用することができること。					
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)															

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	平成 25 年度				平成 26 年度						
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	【事業の内容】 ・皆川城内集会所の管理及び維持補修を行う			【事業の内容】 ・皆川城内集会所の管理及び維持補修を行う						
	県支出金	0	0	【成果】 ・平成25年度実績 利用者数 244回 1,526人 維持修繕 誘導灯バッテリー交換 網戸張替			【成果】 ・平成26年度実績 利用者数 174回 1,167人 維持修繕 給湯器漏水修理						
	地方債	0	0	事業の内容 その成果									
	その他特財	0	0										
	一般財源	522	504										
	事業費 a	522	504										
	人件費 b	750	750										
減価償却費 c		0											
総事業費 a + b + c	1,272	1,254	指標名	算出方法		単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	77.33	81.71	執行率	決算額 ÷ 予算額 H26目標値 100%		%		妥当	無	適正	有効	無	有
結果指標 2	1,526.00	1,167.00	利用者数	利用者数 H26目標値 1,500人		人							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 利用者の利便性を配慮し施設の維持管理を行う。											
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	562801	事業区分	01	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	新栃木コミュニティ会館管理費										主	5201	生涯学習の充実		生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 人権・男女 人権推進担当 大平隣保館チーム						担当者	渡辺由夫				従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		栃木市集会所条例		事業期間	S 5 7 ~ H 3 1 年度				全体事業費 (人件費除)	6,360		千円	

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 新栃木コミュニティ会館の管理及び維持補修を行う。 <b>【主要事業】</b>						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 新栃木コミュニティ会館を運営するうえで必要な光熱水費・燃料費が適正に支出されていること。年々老朽化する施設が維持補修でき、市民が快適に使用することができること。					
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)											

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	平成25年度				平成26年度					
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 ・新栃木コミュニティ会館の管理及び維持補修を行う。 【成果】 ・平成25年度実績 利用者数 175回 1,466人 維持修繕 誘導灯バッテリー交換 火災報知器バッテリー交換				事業の内容 ・新栃木コミュニティ会館の管理及び維持補修を行う。 【成果】 ・平成26年度実績 利用者数 164回 1,312人 維持修繕 ドアクロージャー交換				
	県支出金	0	0									
	地方債	0	0									
	その他特財	1	1									
	一般財源	562	549									
	事業費 a	563	550									
	人件費 b	750	750									
減価償却費 c		0										
総事業費 a+b+c	1,313	1,300	指標名				算出方法				単位	
結果指標 1	88.47	88.26	執行率	決算額 ÷ 予算額 H26目標値 80%								%
結果指標 2	1,466.00	1,312.00	利用者数	利用者数 H26目標値 2,300人								人

事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
	妥当	無	適正	有効	無	有

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 利用者の利便性を配慮し施設の維持管理を行う。					
--------	--	--	--	--	--	--

事後評価備考						
--------	--	--	--	--	--	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	563101	事業区分	01	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	栃木公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実		生涯学習環境の充実		
担当部課 係・担当チーム名	教育委員会 生涯学習課 公民館担当 栃木公民館チーム						担当者	大橋幸子					従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	社会教育法、栃木市公民館条例、同施行規則								事業期間	H18 ~ H30 年度		全体事業費 (人件費除)	102,935 千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・公民館施設の適切な管理運営を行う。 【主要事業】										達成目標	1101 (事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・生涯学習の増進と共に公民館の利用を増加させる。 ・各種団体の自主的な運営を推進する。					
											成果 施策目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)					

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込														
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 その成果	平成25年度					平成26年度						
	県支出金	0	0		【事業の内容】 栃木公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。 【成果】 ・利用件数 1,865件 ・利用者数 28,792人					【事業の内容】 栃木公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。 【成果】 ・利用件数 1,713件 ・利用者数 28,057件						
	地方債	0	0													
	その他特財	1,040	907													
	一般財源	10,687	10,825													
	事業費 a	11,727	11,732													
	人件費 b	15,000	15,000													
減価償却費 c	0	0														
総事業費 a+b+c	26,727	26,732	指標名	算出方法					単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	1,865.00	1,713.00	利用件数	年間利用件数 H26目標値 1,400件					件		妥当	無	余地有	有効	無	有
結果指標 2	28,792.00	28,057.00	利用者数	年間利用者数 H26目標値 31,000人					人							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・公民館業務について、内容の充実と周知に努め、地域住民の満足度を高める。 ・各種団体の自主運営意識の強化を図る															

事後評価備考																
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	563102	事業区分	01	経常的事业	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	大平公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	教育委員会 大平教育支 大平公民館チーム						担当者	松本文男				従			
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等					事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	260,000	千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 公民館管理業務 公民館貸出事務 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 公民館の管理及び貸館業務の充実							
	成果 施策目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)													

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	事業の内容		その成果				
国庫支出金	0	0	平成25年度		平成26年度				
県支出金	0	0	【事業の内容】 大平公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。		【事業の内容】 大平公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。				
地方債	0	0	【成果】 ・利用件数 2,173件 ・利用者数 36,163人		【成果】 ・利用件数 2,187件 ・利用者数 36,442人				
その他特財	1,916	1,657							
一般財源	21,035	20,787							
事業費 a	22,951	22,444							
人件費 b	7,500	7,500							
減価償却費 c		0							
総事業費 a+b+c	30,451	29,944	指標名	算出方法	単位				
結果指標 1	36,163.00	36,442.00	利用者数	人数 H26目標値：36,000人	人				
結果指標 2	2,173.00	2,187.00	利用件数	件数 H26目標値：2,500件	件				
			事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
				妥当	有	適正	有効	無	無

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 地域に根ざした公民館を目標に公民館の施設の管理と貸館業務の推進に努める。
--------	--

事後評価備考	
--------	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	563106	事業区分	01	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	岩舟公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実		
担当部課 係・担当チーム名	教育委員会 岩舟教育支 生涯学習担当 岩舟公民館チーム						担当者	早乙女 透		従						
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	社会教育法、栃木市公民館条例、同施行規則							事業期間	H26 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	45,045	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・公民館管理業務 ・公民館貸出業務 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・公民館の管理及び貸館業務の充実								
	単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)											
事業費・指標の推移	国庫支出金			事業の内容 その成果	平成25年度				平成26年度							
	県支出金				【事業内容】 岩舟公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。 【成果】 ・利用件数 995件 ・利用者数 16,969人											
	地方債															
	その他特財															
	一般財源		14,322													
	事業費 a		14,322													
	人件費 b		12,750													
減価償却費 c																
総事業費 a+b+c		27,072	指標名	算出方法		単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地			
結果指標 1		995.00	利用件数	年間利用件数 1,400件		件		妥当	無	適正	有効	無	無			
結果指標 2		16,969.00	利用者数	年間利用者数 16,000人		人										
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・地域に根ざした公民館を目標に公民館の管理と貸館業務の推進に努めた。															
事後評価備考																



# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	563301	事業区分	01	経常的事业	新規/その他	2	その他	基本施策			単位施策																				
事業名	大宮公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実			生涯学習環境の充実																			
担当部課 係・担当チーム名	教育委員会 生涯学習課 大宮公民館担当 大宮公民館チーム						担当者	小島佳栄				従																							
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	社会教育法、栃木市公民館条例、同施行規則								事業期間	H18 ~ H29 年度			全体事業費 (人件費除)	125,272		千円																
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういふ方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・公民館施設の適切な管理運営を行う。 ・住民票交付等出張所業務を行う ・各種団体の支援を行う。 <b>【主要事業】</b>										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・生涯学習の増進と大宮地区の活性化。 ・各種団体の自主的な運営を推進する。																							
	単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込											成 施 策 目 標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)																				
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0											事業の内容 その成果	平成25年度										平成26年度									
	県支出金		0	0												<b>【事業の内容】</b> 大宮公民館施設の管理運営を行い、団体・サークル等の利用の促進により生涯学習を推進する。 <b>【成果】</b> ・利用件数 1,318件 ・利用者数 21,693人	<b>【事業の内容】</b> 大宮公民館施設の管理運営を行い、団体・サークル等の利用の促進により生涯学習を推進する。 <b>【成果】</b> ・利用件数 1,537件 ・利用者数 23,202人																		
	地方債		0	0																															
	その他特財		984	948																															
	一般財源		10,397	10,696																															
	事業費 a		11,381	11,644																															
	人件費 b		15,000	15,000																															
減価償却費 c			0																																
総事業費 a+b+c		26,381	26,644											指標名	算出方法										単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地			
結果指標 1		1,318.00	1,537.00	利用件数 H26目標値1,700件	年間利用件数										件																				
結果指標 2		21,693.00	23,202.00	利用者数 H26目標値29,000人	年間利用者数										人																				
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・出張所業務、公民館業務について、内容の充実と周知に努め、地域住民の満足度を高める。 ・各種団体の自主運営意識の強化を図る。																																		
事後評価備考																																			

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	563401	事業区分	01	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策			単位施策																			
事業名	皆川公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実			生涯学習環境の充実																		
担当部課 係・担当チーム名	教育委員会 生涯学習課 公民館担当 皆川公民館チーム						担当者	高田佐智代					従																					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	社会教育法、栃木市公民館条例、同施行規則								事業期間	H18 ~ H31 年度			全体事業費 (人件費除)	95,992		千円															
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・公民館施設の適切な管理運営を行う。 ・住民票交付等出張所業務を行う。 ・各種団体の支援を行う。 <b>【主要事業】</b>										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・生涯学習の推進と共に、公民館の利用を増加させる。 ・各種団体の自主的な運営を推進する。																						
	単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込											成果 施策目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)																			
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	事業の内容 皆川公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。 【成果】 ・利用件数 552件 ・利用者数 15,731人										平成25年度										平成26年度									
	県支出金		0	0											【事業の内容】										【事業の内容】									
	地方債		0	0											皆川公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。										皆川公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。									
	その他特財		445	512											【成果】										【成果】									
	一般財源		7,196	7,151											・利用件数 552件										・利用件数 588件									
	事業費 a		7,641	7,663											・利用者数 15,731人										・利用者数 15,492人									
	人件費 b		15,000	15,000																														
減価償却費 c			0																															
総事業費 a+b+c		22,641	22,663	指標名	算出方法					単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地																	
結果指標 1		552.00	588.00	利用件数	年間利用件数 *H26目標値560件					件		妥当	無	適正	有効	無	有																	
結果指標 2		15,731.00	15,492.00	利用者数	年間利用者数 *H26目標値16,000人					人																								
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・公民館業務や地区行事などを公民館だよりへ掲載したり、館内に掲示することで、地域住民への広報活動を充実させた。																																	
事後評価備考																																		

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	563501	事業区分	01	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	吹上公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実			
担当部課 係・担当チーム名	教育委員会 生涯学習課 吹上公民館担当 吹上公民館チーム						担当者	熊谷充晴				従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	社会教育法、栃木市公民館条例、同施行規則								事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	89,438	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうする方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・公民館施設の適切な管理運営を行う ・住民票交付等出張所業務を行う。 ・各種団体の支援を行う。 <b>【主要事業】</b>										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・生涯学習の推進とともに、公民館の利用を増加させる。 ・各種団体の自主的な運営を推進する。 ・地域課題の解決を支援する。					
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)															

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込												
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 その成果	平成25年度					平成26年度				
	県支出金	0	0		【事業の内容】 吹上公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。					【事業の内容】 吹上公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。				
	地方債	0	0		【成果】 ・利用件数 969件 ・利用者数 16,155人					【成果】 ・利用件数 928件 ・利用者数 15,515人				
	その他特財	384	436							臨時業務員賃金(半日)、公用車燃料、電気料、施設維持管理業務委託料、公民館敷地借上料				
	一般財源	7,126	6,213											
	事業費 a	7,510	6,649											
	人件費 b	22,500	22,500											
減価償却費 c	0	0												
総事業費 a+b+c	30,010	29,149	指標名	算出方法			単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	969.00	928.00	利用件数	年間利用件数	H26目標値	1,000件	件		妥当	無	適正	有効	無	有
結果指標 2	16,155.00	15,515.00	利用者数	年間利用者数	H26目標値	17,000人	人							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・公民館業務、出張所業務については、公民館だより等で地域住民に広報し利用拡大を図る ・各種団体の自主運営意識の強化を図る														

事後評価備考															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	563601	事業区分	01	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	寺尾公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実		
担当部課 係・担当チーム名	教育委員会 生涯学習課 寺尾公民館担当 寺尾公民館チーム						担当者	江面 奈々				従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	社会教育法、栃木市公民館条例・施行規則				事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	92,826	千円			
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・公民館施設の適正な管理運営を行う。 ・住民票交付等支所業務を行う。 ・各種団体の支援をする。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・生涯学習の推進と共に、公民館の利用を増加させる。 ・各種団体の自主的な運営を推進する。 生涯学習環境の充実								
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)														
単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込							平成25年度		平成26年度					
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 寺尾公民館施設の管理運営を行い、団体・サークル等の利用の促進により生涯学習を推進する。 【成果】 ・利用件数 275件 ・利用者数 6,471人						【事業の内容】寺尾公民館施設の管理運営を行い、団体・サークル等の利用の促進により生涯学習を推進する。 【成果】 ・利用件数 252件 ・利用者数 7,202人 ・主な支出 臨時業務員賃金(1名)、電気料、施設維持管理委託料、寺尾公民館改修工事費、自治公民館建築費等補助金						
	県支出金	0	0													
	地方債	0	0													
	その他特財	55	122													
	一般財源	6,673	15,586													
	事業費 a	6,728	15,708													
	人件費 b	15,000	15,000													
減価償却費 c	0	0														
総事業費 a+b+c	21,728	30,708	指標名	算出方法		単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地			
結果指標 1	275.00	252.00	利用件数	30件×12月=360件 H26目標値 360件		件		妥当	無	適正	有効	無	有			
結果指標 2	6,471.00	7,202.00	利用者数	33人×360件 12,000人 H26目標値 12,000人		人										
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・出張所業務、公民館業務について、内容の充実と周知に努め、地域住民の満足度を高める。 ・各種団体と協働で、より良い公民館活動ができるよう努める。															
事後評価備考																

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	563701	事業区分	01	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	国府公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	教育委員会 生涯学習課 公民館担当 国府公民館チーム						担当者	福田智世		従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	社会教育法、栃木市公民館条例、同施行規則				事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	64,970	千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうする方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・公民館施設の適切な管理運営を行う。 ・住民票交付等支所業務を行う。 ・各種団体の支援をする。 <b>【主要事業】</b>						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・生涯学習の推進と共に、公民館の利用を増加させる。 ・各種団体の自主的な運営を推進する。 ・地域課題の解決を支援する。							
	単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)										
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	事業の内容 その成果	平成25年度			平成26年度						
	県支出金		0	0		【事業の内容】 国府公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。 【成果】 ・利用件数 955件 ・利用者数 19,864人	【事業の内容】 国府公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。 【成果】 ・利用件数 866件 ・利用者数 20,523人								
	地方債		0	0											
	その他特財		468	678											
	一般財源		5,709	7,033											
	事業費 a		6,177	7,711											
	人件費 b		22,500	22,500											
減価償却費 c			0												
総事業費 a+b+c		28,677	30,211	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地		
結果指標 1		955.00	866.00	利用件数	年間利用件数 (H26目標値：1,000件)	件		妥当	無	適正	有効	無	有		
結果指標 2		19,864.00	20,523.00	利用者数	年間利用者数 (H26目標値：20,000人)	人									
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・支所業務、公民館業務については、公民館だよりで地域住民に広報し、利用拡大を図る。 ・各種団体の自主運営意識の強化を図る。														
事後評価備考															

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	564103	事業区分	01	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策			単位施策			
事業名	藤岡都賀集会所管理費										主	5201	生涯学習の充実			生涯学習環境の充実		
担当部署・担当チーム名	生活環境部 人権・男女 人権推進担当 大平隣保館チーム						担当者	渡辺由夫					従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		栃木市集会所条例			事業期間	H18 ~ H31 年度			全体事業費 (人件費除)	6,446		千円			
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 施設の管理 施設の維持補修 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 市民が快適に使用できるよう施設の管理及び維持補修を行う。 経費の適正な執行を行う。										
	単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込		成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)												
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	事業の内容 その成果	平成25年度			平成26年度									
	県支出金		0	0		【事業の内容】	藤岡都賀集会所の管理及び維持補修を行う			【事業の内容】	藤岡都賀集会所の管理及び維持補修を行う							
	地方債		0	0		【成果】	平成25年度実績 利用者数 40回 698人 維持修繕 トイレロータンク交換 誘導灯バッテリー交換			【成果】	平成26年度実績 利用者数 43回 650人							
	その他特財		3	3														
	一般財源		506	412														
	事業費 a		509	415														
	人件費 b		1,500	750														
減価償却費 c			0															
総事業費 a+b+c		2,009	1,165		指標名	算出方法			単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地		
結果指標 1		90.65	79.04		執行率	決算額 ÷ 予算額 H26目標値 100%			%		妥当	無	適正	有効	無	有		
結果指標 2		698.00	650.00		利用者数	利用者数 H26目標値 800人			人									
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 効率的な執行をし、経費削減に努める。																	
事後評価備考																		

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	564203	事業区分	01	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	藤岡富吉集会所管理費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部署・担当チーム名	生活環境部 人権・男女 人権推進担当 大平隣保館チーム						担当者	渡辺由夫				従			
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市集会所条例				事業期間	H18 ~ H31 年度		全体事業費 (人件費除)	10,719	千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういつ方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・施設の管理 ・施設の維持補修 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 市民が快適に使用できるよう施設の管理及び維持補修を行う。 経費の適性な執行を行う。							
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)													

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	事業の内容									
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	平成25年度								
	県支出金	0	0	平成26年度								
	地方債	0	0	【事業の内容】	【事業の内容】							
	その他特財	0	0	・藤岡富吉集会所の管理及び維持補修を行う	・藤岡富吉集会所の管理及び維持補修を行う							
	一般財源	476	448	【成果】	【成果】							
	事業費 a	476	448	・平成25年度実績 利用者数 59回 735人	・平成26年度実績 利用者数 59回 698人 維持修繕 誘導灯バッテリー交換							
	人件費 b	1,500	750	事業の内容 その成果								
減価償却費 c		0										
総事業費 a+b+c	1,976	1,198	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	76.88	74.21	執行率	決算額 ÷ 予算額 H26目標値 100%	%		妥当	無	適正	有効	無	有
結果指標 2	735.00	698.00	利用者数	利用者数 H26目標値 850人	人							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 効率的な執行をし、経費削減に努める。											
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	564303	事業区分	01	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	藤岡公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	教育委員会 藤岡教育支 生涯学習担当 藤岡公民館チーム						担当者	阿部多佳子				従			
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	社会教育法、栃木市公民館条例、同施行規則				事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	335,000	千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・藤岡公民館及び各地区公民館管理業務 ・藤岡公民館及び各地区公民館貸出事務 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・生涯学習の推進と共に、公民館の利用促進を図る。							
	単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	事業の内容				成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)						
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	平成25年度 ・各公民館の管理業務 ・各公民館の貸出業務 平成26年度 【事業内容】 ・藤岡公民館及び地区公民館の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。 【成果】 利用件数 2,052件 利用者数 32,561人										
	県支出金		0	0											
	地方債		0	0											
	その他特財		1,452	942											
	一般財源		19,717	22,521											
	事業費 a		21,169	23,463											
	人件費 b		4,500	7,500											
減価償却費 c		0	0												
総事業費 a+b+c		25,669	30,963	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地		
結果指標 1		2,295.00	2,052.00	利用件数	年間利用件数 H26目標値：2,550	件	妥当	有	適正	有効	無	有			
結果指標 2		36,616.00	32,561.00	利用者数	年間利用者数 H26目標値：40,000	人									
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・地域住民の活動の充実が図れるよう施設の維持管理と貸館業務の推進に努めた。 ・建物の老朽化により、修繕箇所が増えてきている。修繕費の増大が今後の課題である。														
事後評価備考															



# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	564305	事業区分	01	経常的事业	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	西方公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実			
担当部課 係・担当チーム名	教育委員会 西方教育支 西方公民館チーム						担当者	宇賀神玲子				従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市公民館条例、栃木市公民館施行規則								事業期間	H23 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	27,090	千円

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういふ方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 昭和49年に設立され、旧西方町の中央公民館として生涯学習の中心的役割を担う施設であり、市民の生涯学習事業・社会教育事業・公民館業務・各種団体の育成等の活動環境を維持するため、施設の管理運営を行う。 <b>【主要事業】</b>										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・生涯学習の推進とともに、公民館の利用促進をはかる。 ・各種団体の自主的な活動を支援する。 ・老朽化した施設を管理する。				
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)														

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込																			
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	事業の内容 その成果	平成25年度					平成26年度											
	県支出金		0		<b>【事業の内容】</b> 西方公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。					<b>【事業の内容】</b> 西方公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。											
	地方債		0		<b>【成果】</b> ・利用件数 423件 ・利用人数 6,060人					<b>【成果】</b> ・利用件数 558件 ・利用人数 8,247人											
	その他特財		199																		
	一般財源		3,274																		
	事業費 a		3,473																		
	人件費 b		4,500																		
減価償却費 c		0																			
総事業費 a+b+c		7,973																			
結果指標 1	423.00	558.00	年間利用件数	件数	H26目標値	700件	単位	件	事業の事後評価	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	余地有	上位貢献度	有効	類似事業の有無	有	成果向上の余地	有
結果指標 2	6,060.00	8,247.00	年間利用人数	人数	H26目標値	8,000人	単位	人	事業の事後評価	妥当	無	受益者負担	余地有	上位貢献度	有効	類似事業の有無	有	成果向上の余地	有		

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)																				
	・利用者が快適に施設を利用できるよう、計画的な空調設備の改修を予定し、今年度においても計画どおり改修を実施することができた。 ・今後は、課題である床の全面張替や照明器具の改修においても計画的に改修に努めると共に、公民館事業や生涯学習に繋がる事業を充実させ、公民館利用者の増に繋げていきたい。																				

事後評価備考																					
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	565004	事業区分	01	経常的事业	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	都賀公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	教育委員会 都賀教育支 都賀公民館チーム						担当者	田嶋律子				従			
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	社会教育法、栃木市公民館条例、同施行規則				事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	155,292	千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 施設の管理運営を行い、学習・文化活動の場を提供する 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 生涯学習の増進と共に公民館の利用を増加させる。							
	単位：千円、人						成果 施策目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)							
事業費・指標の推移	国庫支出金		0		0	事業の内容 その成果	平成25年度				平成26年度				
	県支出金		0		0		【事業の内容】 都賀公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する 【成果】 ・利用件数 995件 ・利用者数 16,969円	【事業の内容】 都賀公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する 【成果】 ・利用件数 1,290件 ・利用者数 20,935円 ・都賀公民館駐輪場設置工事 745千円 ・都賀公民館1階西側トイレ改修工事443千円 ・新名地自治公民館改修費補助金758千円							
	地方債		0		0										
	その他特財		666		755										
	一般財源		10,624		12,294										
	事業費 a		11,290		13,049										
	人件費 b		2,250		2,250										
減価償却費 c				0											
総事業費 a+b+c		13,540		15,299	指標名	算出方法		単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1		959.00		1,290.00	利用件数	年間利用件数	H26目標値: 870	件		妥当	無	余地有	有効	無	有
結果指標 2		16,969.00		20,935.00	利用者数	年間利用者数	H26目標値: 19,150	人							
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 公民館事業が円滑に推進するよう、施設の維持管理をする。														
事後評価備考															

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	566402	事業区分	01	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	大平榎本集会所管理費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実			
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 人権・男女 人権推進担当 大平隣保館チーム						担当者	渡辺由夫				従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市集会所条例								事業期間	H17 ~ H31 年度		全体事業費 (人件費除)	12,233	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうい方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 集会所事業を円滑に実施するために、適正かつ効果的に行う事業。榎本集会所事業を実施するための経常的な事業。管理人・施設用消耗品・施設の安全管理費等。施設を維持管理するための経常的な事業。改修工事・修繕工事・備品などの維持管理。 <b>【主要事業】</b>										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 榎本集会所が適正に維持管理され、市民が安全で快適に使用することができる。					
	成 施 策 目 標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)															

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込														
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 その成果	平成25年度					平成26年度						
	県支出金	0	0		<b>【事業の内容】</b> ・大平榎本集会所の管理及び維持補修を行う					<b>【事業の内容】</b> ・大平榎本集会所の管理及び維持補修を行う						
	地方債	0	0		<b>【成果】</b> ・平成25年度実績 利用者数 213回 2,234人 維持修繕 トタン屋根修繕 非常警報装置設置					<b>【成果】</b> ・平成26年度実績 利用者数 186回 1,619人 維持修繕 誘導灯交換						
	その他特財	5	4													
	一般財源	625	442													
	事業費 a	630	446													
	人件費 b	750	750													
減価償却費 c		0														
総事業費 a+b+c	1,380	1,196	指標名	算出方法					単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	98.22	92.17	予算執行率	決算額 ÷ 予算額 H26目標値 100%					%		妥当	有	適正	有効	無	有
結果指標 2	2,234.00	1,619.00	利用者数	利用者のべ人数 H26目標値 2,350人					人							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 榎本集会所を維持管理するうえで必要な事業である。															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考																
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 事 様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	566502	事業区分	01	経常的事业	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	大平伯仲集会所管理費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実			
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 人権・男女 人権推進担当 大平隣保館チーム						担当者	渡辺由夫				従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市集会所条例								事業期間	H17 ~ H31 年度		全体事業費 (人件費除)	7,999	千円

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういふ方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 集会所事業を円滑に実施するために、適正かつ効果的に行う事業。伯仲集会所事業を実施するための経常的な事業。管理人・施設用消耗品・施設の安全管理費等。施設を維持管理するための経常的な事業。改修工事・修繕工事・備品などの維持管理。 <b>【主要事業】</b>										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 伯仲集会所が適正に維持管理され、市民が安全で快適に使用することができる。				
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)														

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0
	県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他特財	3	3
	一般財源	623	457
	事業費 a	626	460
	人件費 b	750	750
減価償却費 c		0	
総事業費 a+b+c	1,376	1,210	
結果指標 1	97.31	93.40	
結果指標 2	913.00	762.00	

事業の内容 その成果	平成25年度	平成26年度
	<b>【事業の内容】</b> ・大平伯仲集会所の管理及び維持補修を行う  <b>【成果】</b> ・平成25年度実績 利用者数 94回 913人 維持修繕 トタン屋根修繕 非常警報装置設置	<b>【事業の内容】</b> ・大平伯仲集会所の管理及び維持補修を行う  <b>【成果】</b> ・平成26年度実績 利用者数 83回 762人 維持修繕 誘導灯交換

指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
予算執行率	決算額 ÷ 予算額 H26目標値 100%	%							
利用者数	利用者のべ人数 H26目標値 1,000人	人							
			妥当	有	適正	有効	無	有	

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 伯仲集会所を維持管理するうえで必要な事業である。									
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考										
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	566602	事業区分	01	経常的事业	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	大平真弓集会所管理費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実			
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 人権・男女 人権推進担当 大平隣保館チーム						担当者	渡辺由夫					従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市集会所条例								事業期間	H17 ~ H31 年度		全体事業費 (人件費除)	9,144	千円

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 集会所事業を円滑に実施するために、適正かつ効果的に行う事業。真弓集会所事業を実施するための経常的な事業。管理人・施設用消耗品・施設の安全管理費等。施設を維持管理するための経常的な事業。改修工事・修繕工事・備品などの維持管理。 <b>【主要事業】</b>										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 真弓集会所が適正に維持管理され、市民が安全で快適に使用することができる。				
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)														

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込													
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 その成果	平成25年度					平成26年度					
	県支出金	0	0		<b>【事業の内容】</b> ・大平真弓集会所の管理及び維持補修を行う					<b>【事業の内容】</b> ・大平真弓集会所の管理及び維持補修を行う					
	地方債	0	0		<b>【成果】</b> ・平成25年度実績 利用者数 265回 2,567人 維持修繕 音響設備修繕 非常警報装置設置					<b>【成果】</b> ・平成26年度実績 利用者数 196回 1,901人 維持修繕 誘導灯交換					
	その他特財	1	1												
	一般財源	613	455												
	事業費 a	614	456												
	人件費 b	750	750												
減価償却費 c		0													
総事業費 a+b+c	1,364	1,206	指標名	算出方法					単位	事業の事後評価					
結果指標 1	97.32	90.86	予算執行率	決算額 ÷ 予算額 H26目標値 100%					%	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 2	2,567.00	1,901.00	利用者数	利用者のべ人数 H26目標値 3,100人					人	妥当	有	適正	有効	無	有

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 真弓集会所を維持管理するうえで必要な事業である。														
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 事 様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	566702	事業区分	01	経常的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	大平西水代集会所管理費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実			
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 人権・男女 人権推進担当 大平隣保館チーム						担当者	渡辺由夫					従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市集会所条例								事業期間	H17 ~ H31 年度		全体事業費 (人件費除)	11,779	千円

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういふ方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 集会所事業を円滑に実施するために、適正かつ効果的に行う事業。西水代集会所事業を実施するための経常的な事業。管理人・施設用消耗品・施設の安全管理費等。施設を維持管理するための経常的な事業。改修工事・修繕工事・備品などの維持管理。 <b>【主要事業】</b>										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 西水代集会所が適正に維持管理され、市民が安全で快適に使用することができる。				
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)														

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込													
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 その成果	平成25年度					平成26年度					
	県支出金	0	0		<b>【事業の内容】</b> ・大平西水代集会所の管理及び維持補修を行う。					<b>【事業の内容】</b> ・大平西水代集会所の管理及び維持補修を行う。					
	地方債	0	0		<b>【成果】</b> ・平成25年度実績 利用者数 340回 4,969人 維持修繕 暗幕張替 非常警報装置設置					<b>【成果】</b> ・平成26年度実績 利用者数 241回 3,135人 維持修繕 誘導灯交換					
	その他特財	2	3												
	一般財源	749	521												
	事業費 a	751	524												
	人件費 b	750	750												
減価償却費 c		0													
総事業費 a+b+c	1,501	1,274	指標名	算出方法					単位	事業の事後評価					
結果指標 1	96.63	91.73	予算執行率	決算額 ÷ 予算額 H26目標値 100%					%	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 2	4,969.00	3,135.00	利用者数	利用者のべ人数 H26目標値 4,500人					人	妥当	有	適正	有効	無	有

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 西水代集会所を維持管理するうえで必要な事業である。														
--------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	566802	事業区分	01	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	大平富田集会所管理費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実			
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 人権・男女 人権推進担当 大平隣保館チーム						担当者	渡辺由夫					従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市集会所条例								事業期間	H17 ~ H31 年度		全体事業費 (人件費除)	14,890	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうい方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 集会所事業を円滑に実施するために、適正かつ効果的に行う事業。富田集会所事業を実施するための経常的な事業。管理人・施設用消耗品・施設の安全管理費等。施設を維持管理するための経常的な事業。改修工事・修繕工事・備品などの維持管理。 <b>【主要事業】</b>										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 富田集会所が適正に維持管理され、市民が安全で快適に使用することができる。					
	成 施 策 目 標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)															

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	事業の内容その成果				事業の事後評価					
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	平成25年度			平成26年度					
	県支出金	0	0	【事業の内容】			【事業の内容】					
	地方債	0	0	・大平富田集会所の管理及び維持補修を行う			・大平富田集会所の管理及び維持補修を行う					
	その他特財	4	14	【成果】			【成果】					
	一般財源	640	482	・平成25年度実績			・平成26年度実績					
	事業費 a	644	496	利用者数 486回 5,080人			利用者数 266回 2,236人					
	人件費 b	750	750	維持修繕 非常警報装置設置			維持補修 誘導灯交換					
減価償却費 c		0	指標名	算出方法	単位	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地	
総事業費 a+b+c	1,394	1,246	予算執行率	決算額÷予算額 H26目標値 100%	%	妥当	有	適正	有効	無	有	
結果指標 1	89.66	91.05	利用者数	利用者のべ人数 H26目標値 4,500人	人							
結果指標 2	5,080.00	2,236.00										

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 富田集会所を維持管理するうえで必要な事業である。										

事後評価備考											
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 事 様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100403	予算事業コード	567601	事業区分	01	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	図書館システム管理費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	教育委員会 生涯学習課 社会教育担当						担当者	須見 誠		従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等			事業期間	H23 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	103,871		千円			

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 栃木市図書館システムの管理を行う。 【主要事業】					達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・図書館サービスの質の向上を図る。				
						成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)				

単位：千円、人		平成25年度決算額	平成26年度決算見込	事業の内容								
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 その成果	平成25年度	平成26年度						
	県支出金	0	0		【事業の内容】 ・図書館のシステムのネットワーク化による利用者により均一なサービスを提供する。 【成果】 ・図書館システムによる図書館資料登録、利用者データ、図書の貸出・返却、予約リクエスト受入等の管理を行った。 ・利用者の利便性向上及びシステム管理の効率化を図るため、各館で異なっている書誌情報を統一した。	【事業の内容】 ・図書館のシステムのネットワーク化による利用者により均一なサービスを提供する。 【成果】 ・6館連動した図書館資料登録、利用者データ、図書の貸出・返却、予約リクエスト受入等の管理運営を行うため、図書館システムの統合を行った。						
	地方債	0	0									
	その他特財	0	0									
	一般財源	14,776	11,342									
	事業費 a	14,776	11,342									
	人件費 b	2,625	3,000									
減価償却費 c	0	0										
総事業費 a+b+c	17,401	14,342	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	5.00	6.00	システム設置館数	システム設置館数：H26目標値 6施設	施設		妥当	無	適正	有効	無	有
結果指標 2	752,272.00	747,377.00	貸出点数	図書と視聴覚資料の貸出点数：H26目標値 755,000点	点							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・図書館システムの統合を図ったことで、一枚のカードで市内6館を利用でき、かつ市内の図書館で借りた資料は6館のどこの図書館でも返却できるなどの利便性の向上が図られた。 ・図書資料数の増加とともに予約・リクエストの件数も増えているため、今後も安定した機能を維持していきたい。					

事後評価備考						
--------	--	--	--	--	--	--



# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100403	予算事業コード	567903	事業区分	01	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	藤岡図書館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実			
担当部課 係・担当チーム名	教育委員会 生涯学習課 社会教育担当						担当者	大森晴美				従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市図書館条例・栃木市図書館の管理及び運営に関する規則								事業期間	H18 ~ H25 年度		全体事業費 (人件費除)	51,456	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうい方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・図書館資料等の管理を含む、計画的・効果的な施設の管理運営を図る。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・図書館サービスを充実させるため、安定した施設管理を図り、生涯学習の機会創出の場の提供を実施する。					
	単位：千円、人										成果 施策目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)					

事業費・指標の推移	国庫支出金					事業の内容 その成果	平成25年度			平成26年度							
	県支出金		0				【事業の内容】 ・藤岡図書館の施設の維持及び管理運営を行う。 【成果】 ・窓口業務のため臨時職員3名を雇用した。 ・清掃及び警備保守業務委託等実施した。 ・図書館資料の整理用品等として消耗品を購入した。 ・老朽化した設備を修繕した。 指定管理者制度導入のため、平成26年度から図書館管理運営委託事業費に移行										
	地方債		0														
	その他特財		98														
	一般財源		5,294														
	事業費 a		5,392														
	人件費 b		15,000														
減価償却費 c																	
総事業費 a + b + c		20,392				指標名	算出方法			単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1		54,083.00			図書館サービス利用件数	貸出件数、自主事業参加数、レファレンスサービス件数、コピーサービス件数の合計 H25目標数値：53,000件			件	妥当		有	適正	有効	無	有	
結果指標 2		28,877.00			入館者数	年間入館者数 H25目標数値：33,000人			人								

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・計画的・効果的な施設の維持管理を行いながら、地域の図書館として特色ある図書館づくりを目指したい。 (指定管理者制度導入のため、平成26年度から図書館管理運営委託事業費に移行)																	
--------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考																		
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100403	予算事業コード	567905	事業区分	01	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	栃木市図書館西方分館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実		生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	教育委員会 生涯学習課 社会教育担当						担当者	須見 誠		従						
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市図書館条例・栃木市図書館の管理及び運営に関する規則							事業期間	H23 ~ H25 年度		全体事業費 (人件費除)	3,227 千円	

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・図書館資料等の管理を含む、計画的・効果的な施設の管理運営を図る。 <b>【主要事業】</b>					達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・図書館サービスを充実させるため、安定した施設管理を図り、生涯学習の機会創出の場の提供を実施する。				
						成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)				

単位：千円、人		平成25年度決算額	平成26年度決算見込	事業の内容 その成果	
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	平成25年度 <b>【事業の内容】</b> ・栃木市図書館西方分館の施設の維持及び管理運営を行う。 <b>【成果】</b> ・窓口業務のため臨時職員2名を雇用した。 ・図書館資料の整理用品等として消耗品を購入した。  指定管理者制度導入のため、平成26年度から図書館管理運営委託事業費に移行	平成26年度
	県支出金		0		
	地方債		0		
	その他特財		0		
	一般財源		2,639		
	事業費 a		2,639		
	人件費 b		4,875		
減価償却費 c					
総事業費 a+b+c		7,514			

指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	図書館サービス利用件数	貸出件数、自主事業参加数、レファレンスサービス件数、コピーサービス件数の合計 H25目標数値：6,500件	件	妥当	無	適正	有効	無	有
結果指標 2	入館者数	入館者数 H25目標数値：4,000人	人	妥当	無	適正	有効	無	有

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・計画的・効果的な施設の維持管理を行いながら、地域の図書館として特色ある図書館づくりを目指したい。 (指定管理者制度導入のため、平成26年度から図書館管理運営委託事業費に移行)
--------	---

事後評価備考	
--------	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100403	予算事業コード	568004	事業区分	01	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	都賀図書館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実			
担当部課 係・担当チーム名	教育委員会 生涯学習課 社会教育担当						担当者	須見 誠		従							
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市図書館条例・栃木市図書館の管理及び運営に関する規則								事業期間	H18 ~ H25 年度		全体事業費 (人件費除)	73,572	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうい方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・図書館資料等の管理を含む、計画的・効果的な施設の管理運営を図る。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・図書館サービスを充実させるため、安定した施設管理を図り、生涯学習の機会創出の場の提供を実施する。					
	単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	達成目標 とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)													

事業費・指標の推移	国庫支出金		0	事業の内容 その成果	平成 25 年度		平成 26 年度							
	県支出金		0		【事業の内容】 ・都賀図書館の施設の維持及び管理運営を行う。 【成果】 ・窓口業務のため臨時職員 3 名を雇用した。 ・清掃及び警備保守業務委託等実施した。 ・図書館資料の整理用品等として消耗品を購入した。 ・老朽化した設備を修繕した。 指定管理者制度導入のため、平成26年度から図書館管理運営委託事業費に移行									
	地方債		0											
	その他特財		134											
	一般財源		4,565											
	事業費 a		4,699											
	人件費 b		7,500											
減価償却費 c														
総事業費 a+b+c		12,199	指標名		算出方法		単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1		53,486.00	図書館サービス利用件数	貸出件数、自主事業参加数、レファレンスサービス件数、コピーサービス件数の合計 H25目標数値：54,000件		件	妥当		無	適正	有効	無	有	
結果指標 2		23,808.00	入館者数	年間入館者数 H25目標数値：24,000人		人								

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・計画的・効果的な施設の維持管理を行いながら、地域の図書館として特色ある図書館づくりを目指したい。 (指定管理者制度導入のため、平成26年度から図書館管理運営委託事業費に移行)														
--------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100403	予算事業コード	569205	事業区分	02	政策的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	栃木市図書館西方分館施設整備事業費											主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実		
担当部課 係・担当チーム名	教育委員会 生涯学習課 社会教育担当						担当者	須見 誠				従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市図書館条例								事業期間	H25 ~ H25 年度		全体事業費 (人件費除)	2,174	千円

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・市民への図書館利用サービスの公平化・一律化を図るため、平成24年度から「栃木市図書館西方分館」を西方公民館内に開設した。公民館講堂を図書館としたため、図書館として利用しやすいドアやサッシの改修、他の図書館と設備をそろえるための備品等を購入するなど施設整備を行う。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・施設の改修を行い、図書館として利用しやすい施設とする。 ・書架等を整備し、収容能力の拡大を図る。					
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)															

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	事業の内容 その成果 【事業の内容】 ・栃木市図書館西方分館の施設を整備することで、利用者へのより快適な読書環境を提供する。 【成果】 ・図書館出入口のドア改修及び段差を解消した。 ・雑誌書架を増設した。 ・サッシ改修工事(排煙窓修繕)行った。 ・閉架書架を整備した。 平成25年度事業終了												
事業費・指標の推移	国庫支出金	0		平成25年度						平成26年度					
	県支出金	0													
	地方債	0													
	その他特財	0													
	一般財源	2,174													
	事業費 a	2,174													
	人件費 b	3,375													
減価償却費 c															
総事業費 a+b+c	5,549														

結果指標 1	100.00	事業進捗率	累積事業費 ÷ 全体事業費 × 100 H25目標数値：86.8%	%	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 2	350.00	蔵書能力増加数	蔵書能力増加点数 H25目標数値：150点	点							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・段差のある出入り口付近とドアの改修・サッシ改修を行い、図書館の環境整備を図った。 ・雑誌用の書架を増設し、収容能力の拡大を図った。 (平成25年度終了事業)										
--------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考											
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	582301	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	とちぎ未来アシストネット事業費（栃木）										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	教育委員会 生涯学習課 社会教育担当 社会教育チーム						担当者	木村 信孝		従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等			事業期間	H23 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	7,077		千円			

事業の概要	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どのような方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・養成するとともに、全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、本市の教育の柱となるとちぎ未来アシストネット事業を推進し、地域の教育力を高める。</p> <p>【主要事業】</p>						達成目標	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、地域の教育力を高める。</p>					
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)											

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	平成25年度			平成26年度												
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	【事業の内容】 ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、学校支援ボランティア活動を推進する。			【事業の内容】 ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、学校支援ボランティア活動を推進する。											
	県支出金	368	459	【成果】 ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置した。 ・全ての小中学校において学校支援ボランティア活動を推進した。 ・学校・地域コーディネーター研修を開催した。			【成果】 ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置した。 ・全ての小中学校において学校支援ボランティア活動を推進した。 ・学校・地域コーディネーター研修を開催した。											
	地方債	0	0	事業の内容 その成果	指標名			算出方法			単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
	その他特財	0	0		ボランティア活動回数	年間活動回数：H26目標値：1500回			回									
	一般財源	210	230		ボランティア数	ボランティア活動延べ人数：H26目標値 9000人			人									
	事業費 a	578	689		妥当	無	適正	有効	有	有								
	人件費 b	5,625	5,250															
減価償却費 c		0																
総事業費 a+b+c	6,203	5,939																
結果指標 1	1,558.00	3,196.00																
結果指標 2	12,230.00	74,366.00																

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)															
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とちぎ未来アシストネット事業の認知度が低いため、学校や地域に対して、事業の理解・協力を得るため広報</li> <li>・啓発に努める必要がある。</li> <li>・研修会等を実施し、学校・地域コーディネーターの養成とスキルアップを図ることができた。今後も、事業を推進するため研修会等を実施する必要がある。</li> </ul>															

事後評価備考																
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	582302	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	とちぎ未来アシストネット事業費(大平)										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	教育委員会 大平教育支 大平公民館チ - ム						担当者	松本文男				従			
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等			事業期間	H21 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	5,000		千円			

事業の概要	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どのような方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・養成するとともに、全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、本市の教育の柱となるとちぎ未来アシストネット事業を推進し、地域の教育力を高める。</p> <p>【主要事業】</p>										達成目標	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、地域の教育力を高める。</p>				
	成果目標	<p>とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)</p>														

単位: 千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	平成25年度			平成26年度						
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	<b>【事業の内容】</b> ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、学校支援ボランティア活動を推進する。 <b>【成果】</b> ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置した。 ・全ての小中学校において学校支援ボランティア活動を推進した。			<b>【事業の内容】</b> ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、学校支援ボランティア活動を推進する。 <b>【成果】</b> ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置した。 ・全ての小中学校において学校支援ボランティア活動を推進した。 ・学校・地域コーディネーター研修を開催した。					
	県支出金	73	84									
	地方債	0	0									
	その他特財	0	0									
	一般財源	40	42									
	事業費 a	113	126									
	人件費 b	1,500	1,500									
減価償却費 c		0										
総事業費 a+b+c	1,613	1,626	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	939.00	1,296.00	ボランティア活動回数	年間活動回数 H26目標値: 150回	回							
結果指標 2	4,027.00	128,115.00	ボランティア数	ボランティア活動述べ人数 H26目標値: 4,027人	人							
事業改善計画	<p>(改善内容とその効果を具体的に記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とちぎ未来アシストネット事業の認知度が低いため、学校や地域に対して、事業の理解・協力を得るため広報啓発に努める必要がある。</li> <li>・研修会等を実施し、学校・地域コーディネーターの養成とスキルアップを図ることができた。今後も、事業を推進するため研修会等を実施する必要がある。</li> </ul>											
事後評価備考												

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	582303	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策											
事業名	とちぎ未来アシストネット事業費（藤岡）										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実											
担当部課 係・担当チーム名	教育委員会 藤岡教育支 生涯学習担当 藤岡公民館チーム						担当者	阿部多佳子					従												
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等					事業期間	H23 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	1,400		千円											
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・養成するとともに、中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、本市の教育の柱となるとちぎ未来アシストネット事業を推進し、地域の教育力を高める。 <b>【主要事業】</b>						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、地域の教育力を高める。																	
	単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込		達成目標		とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)																		
事業費・指標の推移	国庫支出金		0		事業の内容 その成果	平成25年度			平成26年度			【事業の内容】 ・藤岡公民館にアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、学校ボランティア活動を推進する。 【成果】 ・全ての小中学校において学校支援ボランティア活動を推進した。 ・学校、地域コーディネーター研修会を開催した。													
	県支出金	127	104			【事業の内容】 ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、学校支援ボランティア活動を推進する。 【成果】 ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置した。 ・全ての小中学校において学校支援ボランティア活動を推進した。 ・学校・地域コーディネーター研修を開催した。			【事業の内容】 ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、学校ボランティア活動を推進する。 【成果】 ・全ての小中学校において学校支援ボランティア活動を推進した。 ・学校、地域コーディネーター研修会を開催した。																
	地方債	0	0																						
	その他特財	0	0																						
	一般財源	63	53																						
	事業費 a	190	157																						
人件費 b	3,750	1,500																							
減価償却費 c	0	0																							
総事業費 a+b+c	3,940	1,657																							
結果指標 1	698.00	1,107.00		指標名	ボランティア活動回数		算出方法	年間活動回数 H26目標値：760		単位	回		事業の事後評価	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有
結果指標 2	4,587.00	8,810.00		指標名	ボランティア数		算出方法	ボランティア活動延べ人数 H26目標値：4,360		単位	人		事業の事後評価	妥当	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・とちぎ未来アシストネット事業の認知度が低いため、学校や地域に対して、事業の理解・協力を得るため広報・啓発に努める必要がある。 ・研修会等を実施し、学校・地域コーディネーターの養成とスキルアップを図ることができた。今後も、事業を推進するため研修等を実施する必要がある。																								
事後評価備考																									

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	582304	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	とちぎ未来アシストネット事業費(都賀)										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	教育委員会 都賀教育支 都賀公民館チーム						担当者	田嶋律子				従			
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等					事業期間	H23 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	229	千円		

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どのような方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・養成するとともに、全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、本市の教育の柱となるとちぎ未来アシストネット事業を推進し、地域の教育力を高める。 <b>【主要事業】</b>						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、地域の教育力を高める。					
	成 施 策 目 標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)											

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	平成25年度			平成26年度							
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、学校支援ボランティア活動を推進する。 【成果】 ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置した。 ・全ての小中学校において学校支援ボランティア活動を推進した。 ・学校・地域コーディネーター研修を開催した。			事業の内容 ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、学校支援ボランティア活動を推進する。 【成果】 ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置した。 ・全ての小中学校において学校支援ボランティア活動を推進した。活動回数796 ・学校・地域コーディネーター研修を開催した。						
	県支出金	143	84										
	地方債	0	0										
	その他特財	0	0										
	一般財源	71	35										
	事業費 a	214	119										
	人件費 b	750	750										
減価償却費 c		0											
総事業費 a+b+c	964	869	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地	
結果指標 1	889.00	796.00	件数	学校支援ボランティア年間活動件数	H26目標値： 880		件	妥当	無	適正	有効	有	有
結果指標 2	2,672.00	14,929.00	人数	学校支援ボランティア年間活動人数	H26目標値： 1,000		人						

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)											
	・とちぎ未来アシストネット事業の認知度が低いため、学校や地域に対して、事業の理解・協力を得るため広報、啓発に努める必要がある。 ・研修会等を実施し、学校・地域コーディネーターの養成とスキルアップを図ることができた。今後も、事業を推進するため研修会等を実施する必要がある。											

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	582305	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	とちぎ未来アシストネット事業費(西方)										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	教育委員会 西方教育支 西方公民館チーム					担当者	宇賀神 玲子					従			
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等			事業期間	H24 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	648		千円			

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・養成するとともに、全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、本市の教育の柱となるとちぎ未来アシストネット事業を推進し、地域の教育力を高める。 <b>【主要事業】</b>					達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、地域の教育力を高める。				
	成 施 策 目 標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)									

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	平成25年度			平成26年度							
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	<b>【事業の内容】</b> ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、学校支援ボランティア活動を推進する。 <b>【成果】</b> ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置した。 ・全ての小中学校において学校支援ボランティア活動を推進した。 ・学校・地域コーディネーター研修を開催した。			<b>【事業の内容】</b> ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、学校支援ボランティア活動を推進する。 <b>【成果】</b> ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置した。 ・全ての小中学校において学校支援ボランティア活動を推進した。 ・学校・地域コーディネーター研修を開催した。						
	県支出金	90	63										
	地方債	0	0										
	その他特財	0	0										
	一般財源	50	31										
	事業費 a	140	94										
	人件費 b	1,500	1,500										
減価償却費 c		0											
総事業費 a+b+c	1,640	1,594	指標名	算出方法		単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	260.00	527.00	ボランティア活動回数	回数	H26目標値 250回	回		妥当	無	適正	有効	有	有
結果指標 2	1,035.00	3,076.00	ボランティア数	人数	H26目標値 1,000人	人							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)													
	・とちぎ未来アシストネット事業の認知度が低いため、学校や地域に対して、事業の理解・協力を得るため広報・啓発に努めたところ、地域へ事業が浸透され、ボランティアへの意識が高まった。 ・地域教育協議会に活動部、研修部、広報部を部会を設置し、部会ごとの活動を行った。設置1年目であるため、今後の活動の充実に努める。													

事後評価備考														
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 事 様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	582306	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	とちぎ未来アシストネット事業費(岩舟)										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	教育委員会 岩舟教育支 生涯学習担当 岩舟公民館チーム						担当者	早乙女 透		従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等			事業期間	H26 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	693		千円			

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうい方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・育成するとともに、地域アシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、本市の教育の柱となるとちぎ未来アシストネット事業を推進し、地域の教育力を高める。 【主要事業】					達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) ・地域アシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、地域の教育力を高める。				
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)									

単位:千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	事業の内容 その成果		平成25年度	平成26年度						
事業費・指標の推移	国庫支出金		事業の内容 その成果	【事業内容】 ・地域アシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、学校支援ボランティア活動を推進する。 【成果】 ・地域アシストネット本部(学校支援地域本部)を設置した。 ・小中学校において学校支援ボランティア活動を推進した。								
	県支出金											
	地方債											
	その他特財											
	一般財源				168							
	事業費 a				168							
	人件費 b				750							
減価償却費 c												
総事業費 a+b+c		918	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1		924.00	ボランティア活動回数	年間活動回数 600回	回	妥当	無	適正	有効	無	無	
結果指標 2		23,417.00	ボランティア数	ボランティア活動延べ人数 3,000人	人							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・岩舟エリア地域教育協議会を設置し、地域・学校・家庭の教育現状を共有した。 ・地域コーディネーター、学校支援ボランティア、学校コーディネーターが連携し、とちぎ未来アシストネット事業を推進した。											
--------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	584406	事業区分	01	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策			単位施策				
事業名	西根南集会所管理費										主	5201	生涯学習の充実			生涯学習環境の充実			
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 人権・男女 人権推進担当 大平隣保館チーム						担当者	渡辺由夫				従							
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市集会所条例								事業期間	H26 ~ H31 年度			全体事業費 (人件費除)	2,225		千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 集会所事業を円滑に実施するために、適正かつ効果的に行う事業。 西根南集会所事業を実施するための経常的な事業。 施設を維持管理するための経常的な事業 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 西根南集会所が適正に維持管理され、市民が安全で快適に使用することができる。							
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)																	
単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込																	
事業費・指標の推移	国庫支出金			事業の内容 その成果	平成25年度					平成26年度									
	県支出金				【事業の内容】 ・岩舟西根南集会所の管理及び維持補修を行う。 【成果】 ・平成26年度実績 利用者数 24回 145人														
	地方債																		
	その他特財		2																
	一般財源		489																
	事業費 a		491																
	人件費 b		750																
減価償却費 c																			
総事業費 a + b + c		1,241	指標名	算出方法			単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果上の余地					
結果指標 1		80.83	執行率	決算額 ÷ 予算額 H26目標値 100%			%		妥当	無	適正	有効	無	有					
結果指標 2		145.00	利用者数	利用者数 H26目標値 200人			人												
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)																		
事後評価備考																			

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	584506	事業区分	01	経常的事业	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	下津原集会所管理費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 人権・男女 人権推進担当 大平隣保館チーム						担当者	渡辺由夫		従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市集会所条例			事業期間	H26 ~ H31 年度		全体事業費 (人件費除)	1,984		千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 集会所事業を円滑に実施するために、適正かつ効果的に行う事業。 下津原集会所事業を実施するための経常的な事業。 施設を維持管理するための経常的な事業。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 下津原集会所が適正に維持管理され、市民が安全で快適に使用することができる。							
	単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込	成果 施策 目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)										
事業費・指標の推移	国庫支出金			事業の内容 その成果	平成25年度			平成26年度							
	県支出金				【事業の内容】 ・岩舟下津原集会所の管理及び維持補修を行う。 【成果】 ・平成26年度実績 利用者数 256回 2,675人 維持修繕 駐車場整地補修										
	地方債														
	その他特財		6												
	一般財源		492												
	事業費 a		498												
	人件費 b		750												
減価償却費 c															
総事業費 a + b + c		1,248	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果上の余地			
結果指標 1		96.65	執行率	決算額 ÷ 予算額 H26目標値 100%	%		妥当	有	適正	有効	無	有			
結果指標 2		2,675.00	利用者数	利用者数 H26目標値 2,000人	人										
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)														
事後評価備考															